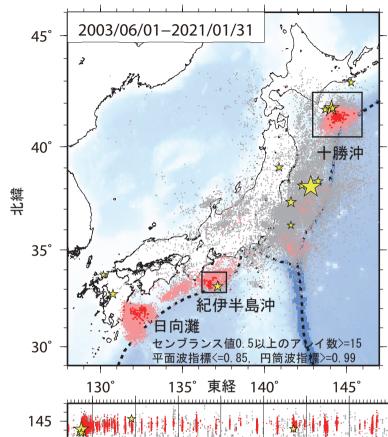
日本周辺における浅部超低周波地震活動(2020年11月~2021年1月) 🕻 防災科研

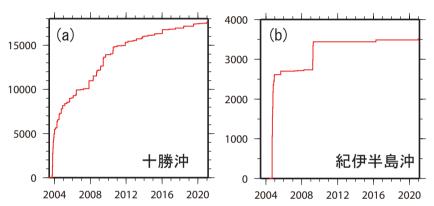




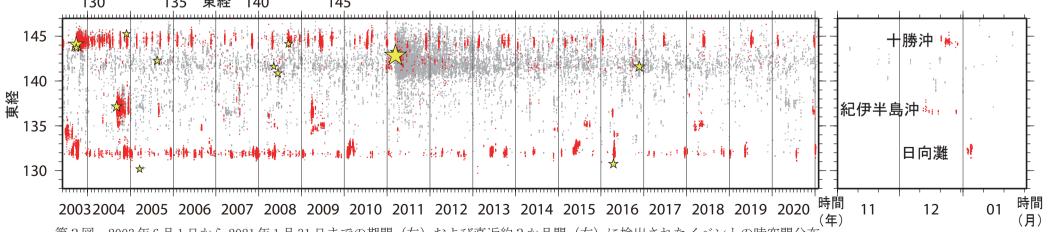


- ●十勝沖で12月下旬に超低周波地震活動
- ●紀伊半島沖で12月中旬~下旬に断続的な超低周波地震活動
- ●日向灘で1月上旬に超低周波地震活動

第1図. 2003年6月1日から2021年1月 31日 までの期間にアレイ解析によって 検出されたイベントの震央分布. 検出 イベントを防災科研 Hi-net の手動また は自動験測震源と照合し、対応する地 れ以外を桃色(2020年9月30日以前) および赤色(10月1日以降)の点でそ れぞれ示す. これらは主として周期 10 が、東北地方太平洋沖地震の発生以降 は、除去しきれない通常の地震を含む 期間内に発生したM7以上の地震(ただ し、2011年~2015年の期間は東北地方 太平洋沖地震の本震のみ) の震央を黄 色星印で示す.



第2図. (a)十勝沖. (b)紀伊半島沖における検出イベントの累積カウ ント数の時間変化、幅 60 秒間の解析時間窓を 15 秒毎に設定し、そ れぞれの解析時間窓内にイベントが検出される度に1カウントと数 えるよう定義した。



第3図. 2003年6月1日から2021年1月31日までの期間(左)および直近約3か月間(右)に検出されたイベントの時空間分布、 検出されたイベントを防災科研 Hi-net 手動または自動験測震源と照合し、対応する地震が見出されたイベントを灰色で、それ以 外を赤色の点でそれぞれ示す。その他は第1図に同じ、

防災科学技術研究所資料